登山の薦め㉟

この山に登ろう㉓

熊野神社から登る竜王山

りゅうおう ざん

竜王山

1255.8 m

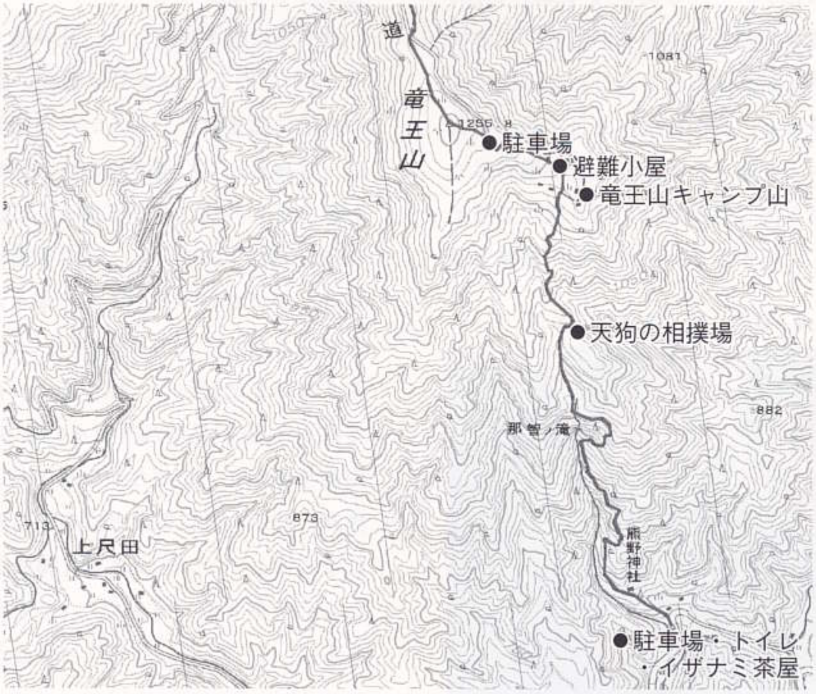
庄原市西城町熊野

ミズナラの巨木

広島登山研究所 代表 **松島 宏**

竜王山は比婆山連峰の最南端に位置します。六ノ原から比婆山(ひばやま)連山1周の回（2010年12月号）にも記載していますが、今回は南の熊野神社からのルートを紹介します。比婆山の六ノ原、県民の森の施設は昭和47(1972）年にできました。それ以前は熊野神社から竜王山に登り、比婆山連峰にアプローチするのが一般的でした。私は若い頃、熊野神社に下山して比婆山駅まで歩いた記憶があります。熊野神社へのアクセスはバスもありますが便数も少なく、JR比婆山駅や西城駅からタクシーを使う以外なさそうです。自家用車で熊野神社に入るのが一般的です。広島市内から高速を使えば2時間程度で入れます。国道183号、庄原市西城町別所より県道254号に入ります。私がこのルートをお薦めするのは熊野神社が素晴らしいのと、その社叢(しゃそう)の老杉群（写真1）が余りにも立派で訪れた人を感動させるからです。

大きな鳥居のそばにある神社の駐車場から登山開始です。トイレもあります。神社の古い石段を登っていきましょう。すぐ巨大な老杉群が現れます。熊野神社は元々、比婆山御陵の遥拝所として古くから信仰を集めてきました。巨大な杉が約100本林立しています。胸高幹囲が8mを越えるものもあり、樹齢も千年を越えていると言われています。広島県で2位、3位、4位の巨樹が揃っていま



斜線は磁北線　東西約500m間隔　長さ約1kmに設定

写真１：熊野神社

写真２：那智の滝

写真３：竜王山頂上

す。その迫力には圧倒されます。これほどの杉の巨樹が一箇所に集中しているのは全国でも珍しいそうです。まさに今流行のパワースポットです。社殿横の登山道を登っていくと三宝荒神社（さんぼうこう）、牛馬荒神社（ぎゅうばこう）、二宮神社、三宮神社と小さな社が続きます。辺りは老杉に囲まれ神秘的な雰囲気を醸し出しています。やがて登山道は谷筋の斜面をトラバース気味に登っていきます。結構急斜面の谷ですので谷に落ちないように注意してください。神社から約 30 分で那智（なち）の滝に着きます（写真２）。谷の奥の岩壁から落ちる滝は壮観です。ここからは滝の横をジグザグと登り、滝の落ち口に到達し、谷を詰めて右の尾根に出ればそこは天狗の相撲場という広場です。滝から 20 分、休憩に最適です。杉の植林を尾根通しに登っていくとやがてブナの天然林となり、竜王山キャンプ場に着きます。古いプレハブの小屋と水場があります。登山道の東側に古い炊事棟やトイレもあります。キャンプ場の上部には崩れかかった避難小屋があり、少し登ると駐車場があります。そうです、熊野神社の西奥の上尺田（かみしゃくた）から、車道が立烏帽子（たてえぼし）山の基部と竜王山のキャンプ場まで通じています。1220 m まで車で上がれるのです。駐車場から５分で竜王山頂上です。頂上は草原状で 360 度見渡すことができます（写真３）。頂上付近は季節の花が咲き乱れます。夏から初秋はアザミ、マツムシソウ、ウメバチソウ、ワレモコウ、ヤマラッキョ、リンドウ等です（写真４、５）。頂上からは近くの立烏帽子山、池ノ段、伊良谷（いらだに）山、福田頭、道後山、猫山等が見られ（写真６）、空気が澄んでいれば遠く大山も見ることができます。頂上から立烏帽子山や眺めの良い池ノ段を往復してもいいでしょう。下山は往路を引き返すか、車の移動ができれば立烏帽子山の駐車場から笹尾根を六ノ原に下りましょう。

熊野神社前にあるイザナミ茶屋は、古代米と地元の山菜で作ったイザナミ丼とゴギ焼きが有名です。４月から 11 月の土日祝日に営業しています。下山後のお風呂はかんぽの郷庄原がお薦めです。

行程

熊野神社→30分→那智の滝→20分→天狗の相撲場→20分→キャンプ場→20分→頂上

立烏帽子山と池ノ段往復：60〜90分、

六ノ原への下山：２時間

所要時間

登り１時間30分、下り１時間20分（往復３時間）

（まつしま　ひろし）

写真４：マツムシソウ

写真５：リンドウ

写真６：左から池ノ段・立烏帽子山・御陵